



## 真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します

### 『認知症の知識を深めよう～事例をとおして学ぶ～』

7月23日（月）、平成30年度第1回 医療と介護に関する勉強会（檜・中央東）が宮崎市保健所・中央保健センターにて開催されました。会の趣旨としましては、昨年、檜・中央東地区の地域包括ケア会議にて、医療・介護従事者が集う機会を希望される声が多くありました。その中でも、認知症に対する意見が多く、今年は「認知症」をテーマに「檜若手の会」（檜・中央東多職種連携会）運営のもと開催することにしました。第1回は、当院の前田院長が講師として招かれ講演しました。参加者は100人を超える盛況ぶりで、みなさんに熱心に聞いていただきました。質問も活発に行っていただきました。その中に、慈英病院の認知症患者に対する退院支援と地域活動について質問がありました。東事務長より、退院に向けて多職種で取り組んでいる現状や家族の理解や協力を得るための家族教室の開催などについてお話をさせていただきました。勉強会の最後に名刺交換会も行われ、多職種間の交流があり有意義な時間でした。



多くの施設から様々な職種の方が参加しました。



講演後の質疑応答も活発に行われました。



事務長から病院の取り組みを説明致しました。



檜若手会の運営メンバーです。

# 『熱中症への理解と自分でできる対策』

6月23日(土)、出来島・高洲コミュニティーセンターで第7回健康教室を開催しました。本格的な夏を迎えるにあたり、小まめな水分補給などの熱中症対策について、当院の院長前田正存が「熱中症への理解と自分でできる対策」について約1時間お話させていただきました。

## ●●● 熱中症を引き起こす条件



①

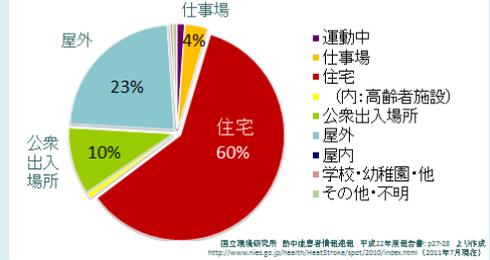
## ●●● 熱中症の重症度分類と症状

重症度分類	症状
<b>I度</b>	・めまい(立ちくらみ)、失神 ・筋肉痛、筋肉の硬直(こむら返り) ・手足のしびれ、気分不快
<b>II度</b>	・頭痛 ・吐き気、嘔吐 ・倦怠感
<b>III度</b>	・意識障害 ・けいれん、手足の運動障害 ・高体温

②

## 高齢者の熱中症患者の発生状況

●●● 熱中症救急搬送者のうち、65歳以上ではその6割が住宅内で発生していた(平成22年度、n=5915)。



③

## ●●● 高齢者や子どもが熱中症になりやすい理由



④



## ●●● 水分の喪失と症状

水分減少率	主な症状
-2%	のどの渇き
3-4%	食欲不振、イライラする 皮膚の紅潮、疲労困憊
5%	言語不明瞭、呼吸困難 身体動揺、けいれん

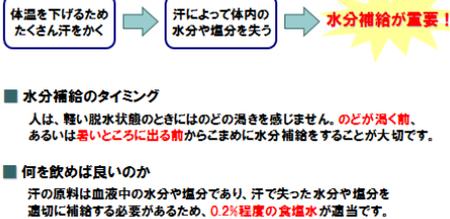
⑤

## ●●● 熱中症の予防法(日常での注意)

- (1) 暑さを避ける  
・行動 / 住まい / 衣服の工夫
- (2) こまめに水分を補給する
- (3) 急に暑くなる日に注意をする
- (4) 暑さに備えた体作りをする
- (5) 個人の条件を考慮する
- (6) 集団活動の場ではお互いに配慮する

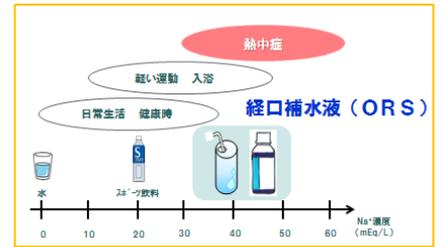
⑥

## ●●● 熱中症予防のための水分補給



⑦

## ●●● 経口補水療法での飲料の選択



⑧

## 病院機能評価 3rd G : Ver.1.1 認定までの道程



当院は、2013年7月5日に初めての認定を受けました。その当時は、病院機能評価の第2世代のVer. 6.0でした。解説集の意味を理解するのも大変で、ただマニュアルの整備で終わったような気がします。それから、月日が経過するのは早いものです。5年後の更新となりました。今回の更新は、「機能種別版評価項目 3rdG:Ver1.1」での受審でした。この機能種別版評価項目は、従来の体制、手順の整備等の構造的な内容を集約し、実効性のある機能評価となるよう、機能の発揮/組織的な活動(プロセス)を重視した内容となっていました。具体的には、「患者の視点に立った、良質な医療の実践」を評価するため、4つの評価対象領域で構成され、患者さんが医療を受ける流れに即した評価、業務の流れに即した評価など、より実質的な状況が評価されました。サーベイヤーの方々から、細やかな指導も含め評価を頂きました。今回、認定証は頂きましたが、今後も日々の患者支援等の過程を大切に、継続していくことの重要性を再認識しました。

## 七夕



7月に病棟にて七夕を飾らせて頂きました♪  
多くの方に書いて頂きありがとうございました。  
一部ですが紹介させていただきます！



「畑のスイカが大きくなりますように」

昨年も当院の畑で約 60cm のスイカが出来たのですが今年はいそれよりも大きなスイカが出来てほしいとの事です！！



「看護学校に行けますように」

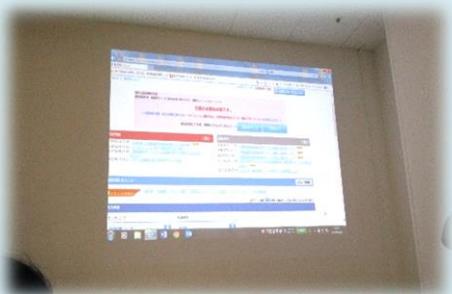
現在介護士で働いているスタッフです！来年看護学校を受験するとの事でした。頑張ってくださいね！！



「みんなずっと一緒にいれますように」

家族と当院のスタッフとずっと一緒にいられるようにとの事でした！

## 大規模地震時医療活動訓練



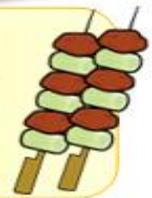
近年自然災害が猛威をふるい全国各地で甚大な被害が報告されております。

8月3日に内閣府主催の平成30年度大規模地震時医療活動訓練が行われました。当院では災害時の避難経路の確認、IMISを使用した救援方法の確認を行いました。今回の訓練の経験を活かし患者様やスタッフの命を守る様に我々も日々勉強し訓練を行っていきます。

# ビアガーデン

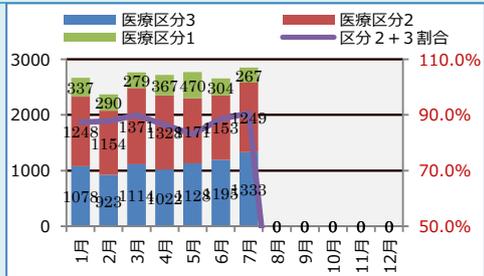


毎年恒例ビアガーデンと新入職員歓迎会が行われました♪  
 今年は約 70 名の職員が出席し食事やお酒をたくさん飲み食べし最後の方には、じゃんけん大会が行われ大いに盛り上がりました！！  
 まだまだ暑い日が続きますが夏バテ等には気を付けて仕事に励んでいきましょう！！

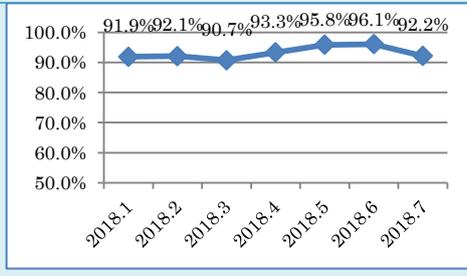


## クリニカルインディケーター 2018年(平成30年)

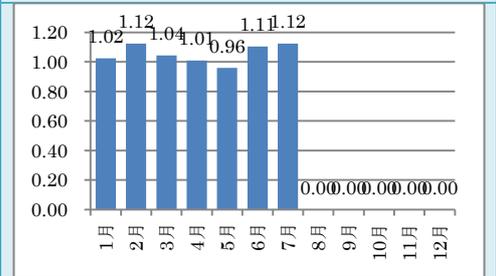
医療区分別入院患者数



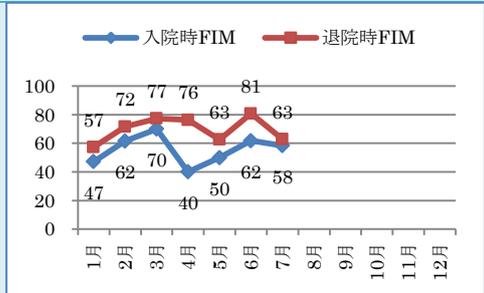
在宅復帰率 (2018. 8. 1 現在)



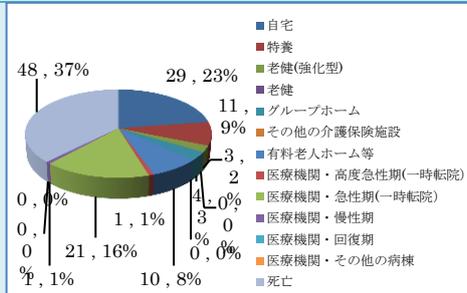
1人1日当たりリハビリ実施単位数



軽快退院患者の FIM 評価点数 (n=40)



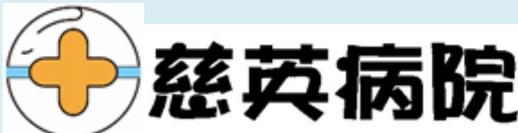
退院先 (2018. 1~7; n=108)



褥瘡を有する患者数 & 治癒数



医療法人社団 栄正



診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科  
 〒880-0853 宮崎市中西町 160 番地  
 TE0985-23-5000 FAX 0985-23-5886  
 URL : <http://www.jiei.jp>

編集委員

- 江藤裕子 東洋一
- 上原庸平 中村峻介
- 荒竹浩和 仲田由加
- 黒松和子 榊原矛
- 酒井晃 清武充子
- 松本めぐみ